



スリッパ クラッチキット 取扱説明書

商品番号 : 02-01-0110
 : 02-01-0111
 (フリクションディスク/クラッチプレート付属)

適応車種およびフレーム番号

CBR250R:MC41 1000001~
 :MC41 1400001~
 CRF250L:MD38 1000001~
 CRF250M:MD38 1100001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特徴

エンジンブレーキ時にクラッチがスリッパする事により必要以上のバックトルクを軽減し、後輪のホッピングが起りにくくなり操縦性が向上します。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は上記適応車種、フレーム番号専用です。上記以外の車両には取り付け出来ません。

この説明書やサービスマニュアルは、基本的な技術や知識を持っている人を対象としていますので、技術や知識を持っていない人が作業を行った場合、正しく組み付け出来ない場合があり、部品を破損させる場合がありますので、ご注意下さい。

CRF250L/CRF250M/CBR250R:MC41 1400001~の純正ジャダースプリングを当製品と同時装着した場合のクラッチ操作時は、ジャダースプリングを使用しない場合と比較して、レバーのストロークが多く必要になります。

弊社製品“アルミビレットレバー”品番:02 01 0039と、純正ジャダースプリングの併用は、ストローク不足になる為出来ません。

クラッチプレート、フリクションプレート、スプリングの再使用を前提としたキットですが磨耗、損傷がある場合はホンダ純正部品を別途ご購入下さい。

ディスク、クラッチフリクション:22201 KYJ 902

プレート、クラッチ:22321 KYJ 902

スプリング、クラッチ:22401 KYJ 902

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

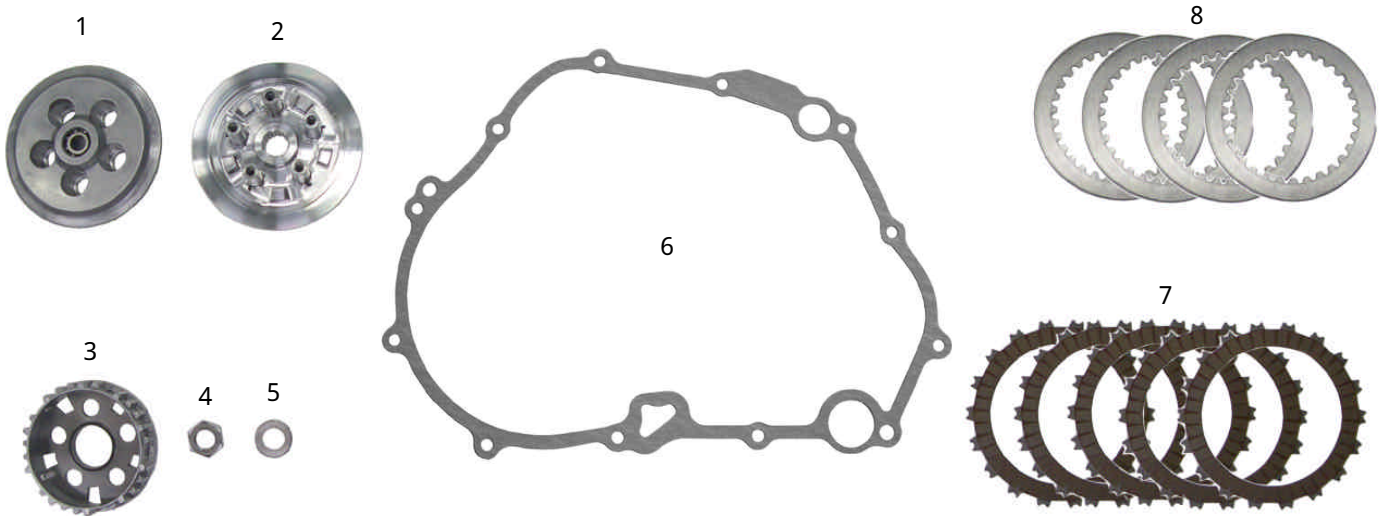
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入 数
1	プレッシャープレート	1	2 2 3 5 1 KYJ T 0 0	1
2	クラッチハブ	1	2 2 3 6 0 KYJ T 0 0	1
3	クラッチセンター	1	2 2 1 2 0 KYJ T 0 1	1
4	ナット 16mm	1	0 0 0 2 0 1 8 5	1
5	ワッシャ	1	0 0 0 2 0 1 8 6	1
6	R.クランクケースカバーガスケット	1	0 0 0 2 0 1 8 7	1
7	フリクションディスク	5	0 0 0 2 0 1 8 3	1
8	クラッチプレート	4	0 0 0 2 0 1 8 4	1

印は02 01 0110の商品内容を示しています。

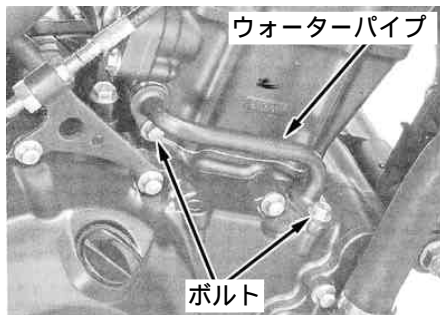
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

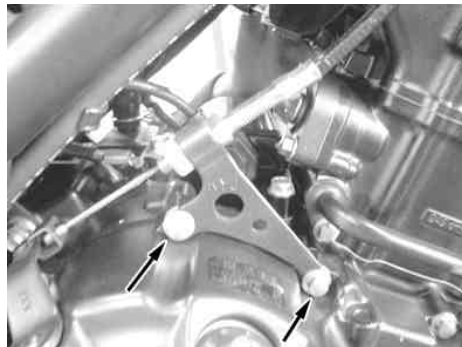
~ 取 り 付 け 要 領 ~

取り外し

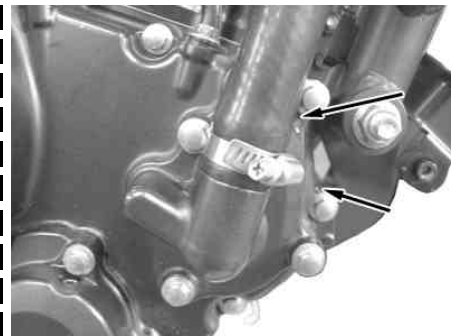
サービスマニュアルを参考にし、エンジンオイル、冷却水を抜き取る。
ボルト、ウォーターパイプを取り外す。



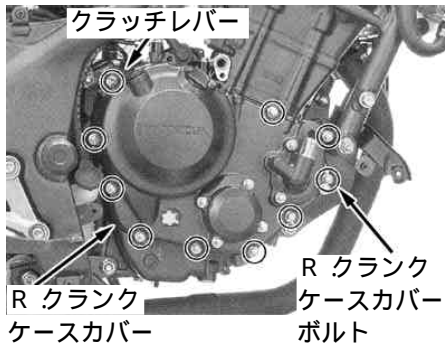
ボルトを外し、クラッチケーブルレシーバーを取り外し、クラッチレバーからクラッチケーブルの接続を外す。



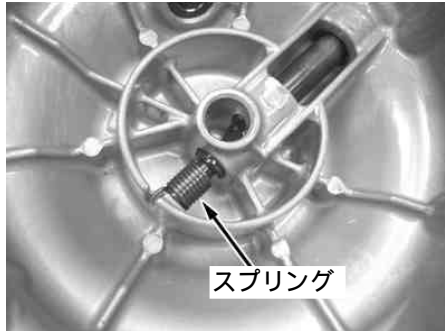
ラジエーターアップパーホースのホースクランプを緩め、アップパーホースの接続を外す。



R. クランクケースカバーボルトを対角に2～3回に分けて緩めて取り外す。



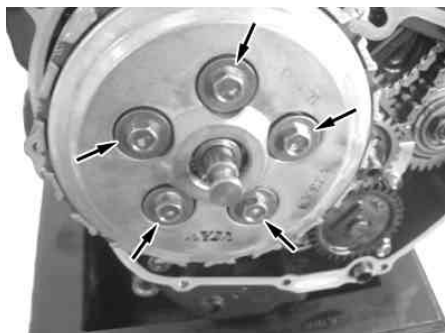
クラッチレバースプリングをクランクケース内に落さないように注意する事。



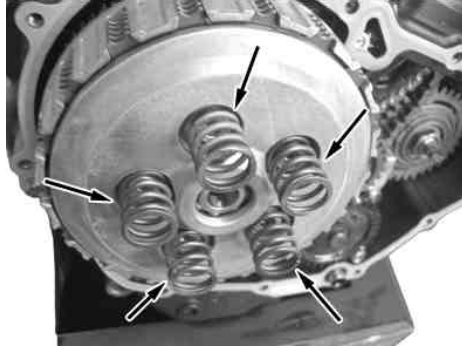
ガスケットを取り外す。



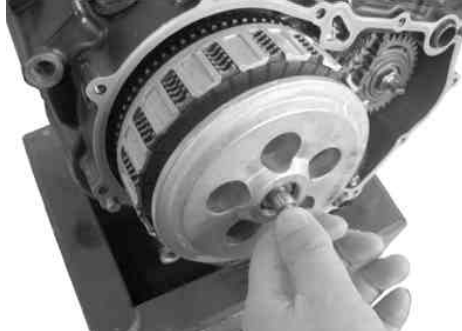
クラッチプレッシャープレートボルトを対角に2～3回に分けて緩める。



クラッチプレッシャーボルトを外し、クラッチスプリングを取り外す。



クラッチリフターピンを引っ張りクラッチプレッシャープレートを取り外す。



フリクションディスク、プレートを取り外す。



クラッチセンターナットのかしめを外す。メインシャフトのネジ部を損傷しないように注意する事。専用工具を使用して、クラッチセンターを保持しながらクラッチセンターロックナットを緩める。

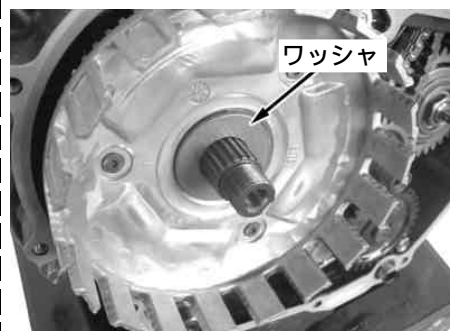
専用工具 ホンダ純正番号
: 07724 0050002



クラッチセンターロックナット、ワッシャを取り外す。クラッチセンターを取り外す。



ワッシャがクラッチアウトター側に残っているか確認。



取り付け

クラッチハブを取り付ける。



キット付属のクラッチセンターロックナットの座面にエンジンオイルを塗布する。ワッシャ、クラッチセンターロックナットの順でメインシャフトに取り付け仮締めします。クラッチセンターとクラッチハブの摺動部にエンジンオイルを塗布します。クラッチセンターを取り付け、専用工具を使用して、クラッチセンターを保持しながらクラッチセンターロックナットを指定トルクで締め付ける。

専用工具 ホンダ純正番号

: 07724 0050002

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：108N・m(11kgf・m)



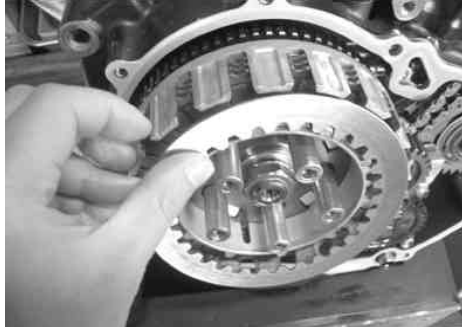
ロックナットをメインシャフト溝部にかしめる。



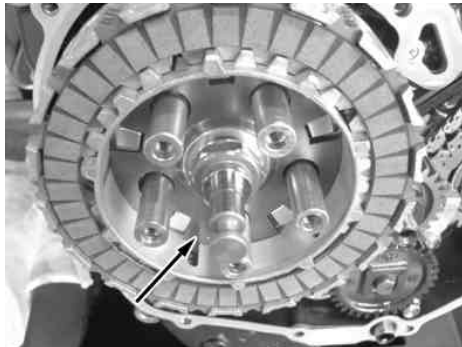
フリクションディスク全周にエンジンオイルを塗布する。



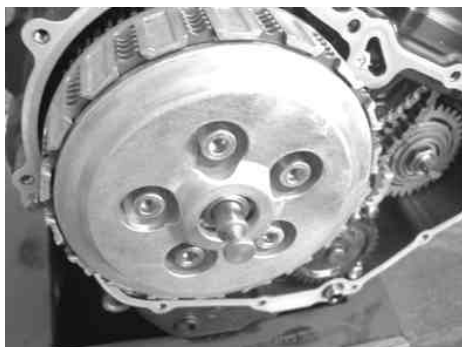
フリクションディスクとクラッチプレートを交互に取り付ける。



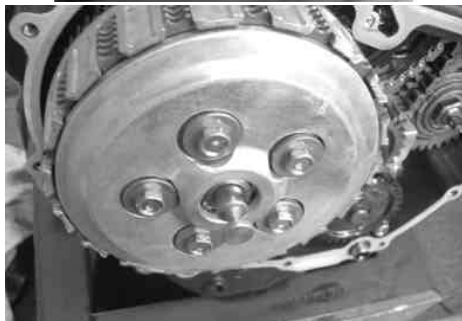
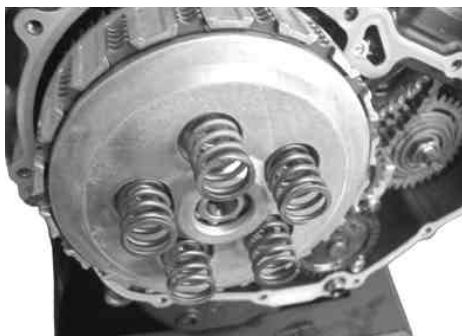
クラッチリフターピンを取り付ける。



キット付属のプレッシャープレートを取り付ける。



クラッチスプリングを取り付けクラッチプレッシャープレートボルトを取り付ける。

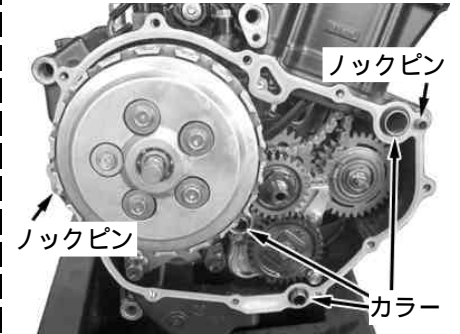


クラッチプレッシャープレートボルトを対角に2～3回に分けて指定トルクで締め付ける。規定トルク以上で締め付けると、クラッチハブが破損するので注意する事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

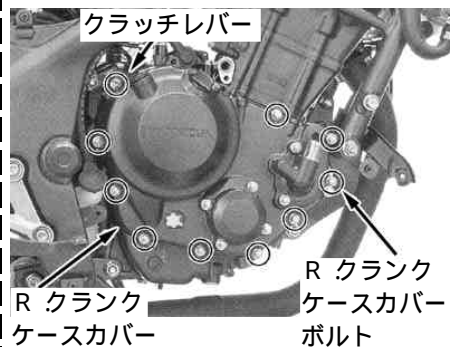
トルク：12N・m(1.2kgf・m)

R.クランクケースカバーとクランクケースの合わせ面を脱脂し、クランクケースにキット付属のガスケットを取り付ける。カラー、ノックピンが所定の場所にあるか確認する事。

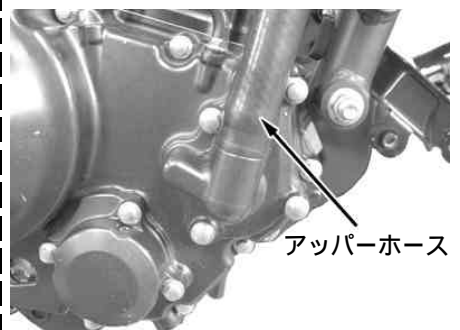


クラッチレバーを時計方向に回転させて、クラッチレバーをクラッチリフターピンに合わせながら、R.クランクケースカバーを取り付ける。

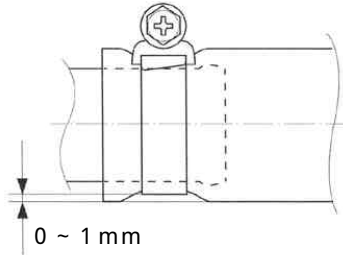
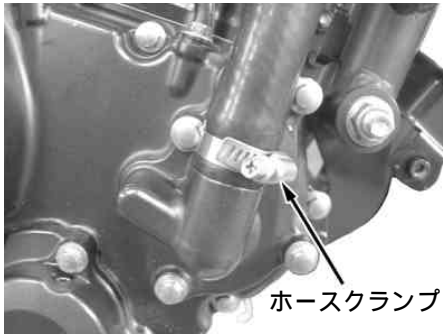
クラッチレバースプリングをクランクケース内に落さないように注意する事。



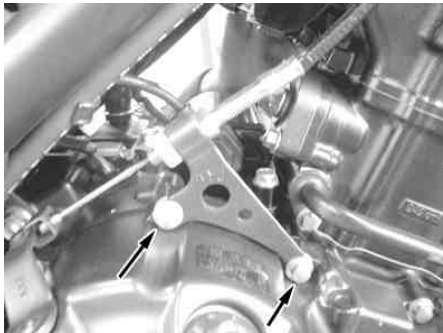
アッパーホースを接続する。



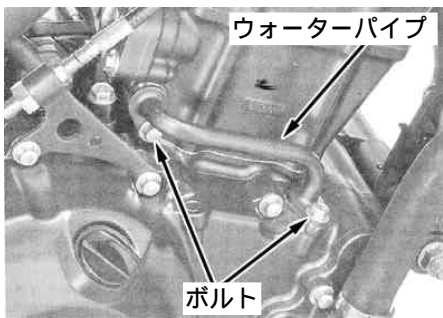
ホースクランプの沈み込み量が規定値になるまでクランプのスクリューを締め付ける。
(下図参照)



クラッチレバーにクラッチケーブルを接続し、クラッチケーブルレシーバー、ボルトを取り付け、ボルトを確実に締め付ける。



ウォーターパイプ、ボルトを取り付け、ボルトを確実に締め付ける。



クラッチレバーの遊び調整

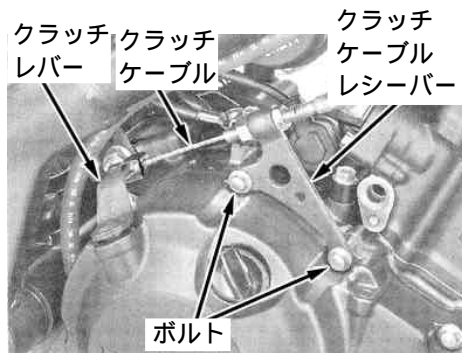
微調整はレバー側のロックナットを緩めてアジャスターを回してレバーの遊びを調整する。



アジャスターのネジ部の掛かり代が少ない場合は、アジャスターを一杯にねじ込み、1回転戻した後、クラッチアーム側で調整を行う。掛かり代が少ない状態でクラッチレバーを操作するとネジ部を損傷することがある。
調整後、アジャスターナットを固定し、ロックナットを締め付ける。

CBR250Rの場合

主調整はクラッチケーブルレシーバー側のアジャスターとナットで行う。



ロックナットを緩め、アジャスターナットを回して遊びを調整する。
調整後、アジャスターナットを固定し、ロックナットを締め付ける。

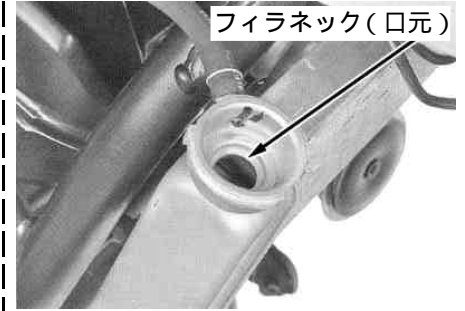
CRF250Lの場合

主調整はクラッチケーブル上のアジャスターで行う。



冷却水の注入、エア抜き

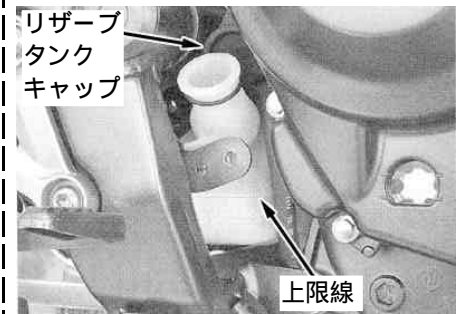
以下の手順でエア抜きを行う。



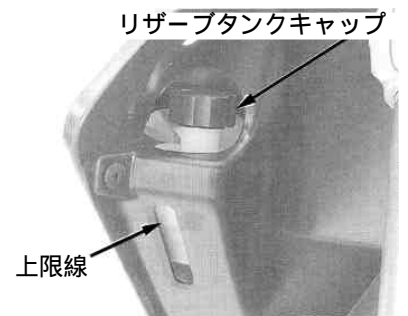
1. トランスミッションをニュートラルにしてエンジンを始動し、数分間アイドリング運転する。
2. スロットルを3~4回軽くスナップし、冷却系統内のエアを抜く。
3. エンジンを停止し、冷却水の量を点検する。少ない場合はフィラネック(口元)いっぱいまで補給する。
4. ラジエーターキャップを取り付ける。

リザーブタンクキャップを外し、冷却液を上限線まで補給する。

CBR250Rの場合



CRF250Lの場合



サービスマニュアルを参考にしエンジンオイルを注入し、漏れが無い事を確認する。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>